

辻勝三郎 つじ かつさぶろう 小説家。大正五年七月十一日東京生れ（一九三一）。

昭和十一年關東軍に入隊。復員後作家活動ののち、ニッポン放送、フジテレビ、産経新聞出版局勤務を経て、高齢者同人誌『すくすく』世羅美社主宰。

著書 『戦線素描』出征將兵作品集（合著・日本電報通信社編、昭和

十七年四月）『日本電報通信社出版部』、『初陣』（昭和十八年八月

二十日天祐書房）、『御木木幸吉』（昭和二十七年七月）『千五百賢文

館』『中学生の伝記』（、『戦及群像』（昭和四十五年七月）『千日創思

社』、『不完全な魂』（昭和五十五年十月）『千日けいせい出版』、『熱

河の譜』（平成八年九月）『千日辻企画』扶桑社発売）等。



熱河の譜 辻 勝三郎 刊

不完全な魂 辻 勝三郎 小説 辻 勝三郎 刊

丹羽文雄氏序文より
 個性マヒの身体障害児をかかえて苦闘する若い夫婦の生活記録である。
 「中絶、暗い悲しい話であるが、夫婦が貧乏と悲しみ耐え病児を心から受け負けずに明るく生きていく姿が全編にみちみちしている。
 夫も妻も、暢気ものを自認している明るさが、これだけの重い悲痛を耐えぬき一つの記録的物語として作品化したのだと思う。

不完全な魂
 辻 勝三郎